

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらプラス みはた			
○保護者評価実施期間	R6年 12月 16日		～	R7年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生は就労準備をするためのコンセプトを持ち、活動提供や関りを行っている。	就労から逆算し、1人1人の力に合わせた自立に向け支援している。 中高生に対しては、生活面や実践的な仕事の体験、パソコン、ニーズによって面接練習を行っている。	・職員1人1人の知識やスキルを上げサービスの質を高めていく。 ・部屋が分かれているため、インカムを使用し細やかな情報共有、連携を行っている。
2	年齢や発達別に部屋を分け、同世代との交流を深めたり、みんなと同じことをしている空間を作って、1人1人が過ごしやすい環境を整えている	過ごす時間、過ごし方、活動内容の掲示を部屋ごとに工夫し「ここでは何をやる」「今は何をするとき」を文字やイラストを使い、掲示している。	子ども達はどう見えているか、どう聞こえているかを常に追求しながら日々改善に努めている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が広く、死角が多い。動きの多い子どもから目を切らないようにすることが時折困難。	廊下があるため、死角の多い間取りとなっている。	活動部屋の範囲を絞ったり、職員の配置に工夫している。 また活動ではやり方や内容を工夫しながら安全に過ごせる取り組みを行っている。 またサービス提供中にはインカムを使用し、職員同士での連携、共有ができるようにしている。
2			
3			